

よろくぶ通信

群馬県立玉村高等学校

発行日 2021. 3. 24

第54号

発行人 校長 高尾 博

第62回卒業証書授与式

3月1日(月)、同窓会長倉林教夫様、PTA会長齋藤晴予様にご出席いただき、第62回卒業証書授与式が挙行されました。

今年度の卒業生は68名。特にこのうち28人は進路が就職のため、「最後の卒業式」となります。また、新型コロナウイルス感染症予防対策で、検温の実施や卒業生保護者の出席は各家庭1名と制限があり、それだけに祝福を受けた卒業生は勿論、保護者の皆様にとっても感慨深い式になったようでした。

卒業生を代表して答辞を述べた前生徒会長の星野月麦さんは、「玉村高校での三年間は、あっという間でした。仲間との何気ない日常。同じようなことを繰り返す毎日。それが大切なものだったと気付くのは、今私がそうであるように、卒業というものを身近に感じるようになったときだと思います。・・・この三年間、私たちを支えてくださった全ての方に感謝の気持ちで一杯です。これから感謝を忘れることなく、それぞれの夢に向かって精一杯努力していくことを、ここに誓います。」と決意を新たにしていました。



本校の教育目標である「璞玉から珠玉へ」ということばを胸に、自信を持って自らを磨き続けてほしいと願っています。

また、卒業式に先立つ2月26日(金)を含めて、多数の者が表彰されました。

<学業成績優秀>

乙部 楓翔 星野 月麦

<3カ年皆勤者>

丸山 凌河 下田 彩 細田 絢也
内田 柚佳 中村 乃々 長谷川 希歩
二渡 汐那

<3カ年精勤者>

アクタルラハト 井上 瑠唯 岩崎 楓
乙部 楓翔 持田 誠吾 金井 結
島田 莉奈 加藤 星哉 古塩 芳季
小林 智輝 柴草 健太 倉金 亜弥
下山 花果 森村 莉帆



<三学期の行事&次年度に向けて>



1 学年「玉だん学校発表」



2 学年「進路フェスタ」



3 学年「課題研究発表」

51日間と短い学期でしたが新型コロナウイルス感染予防対策に配慮しつつ、各学年の行事が実施されました。3年生の家庭学習入りを前にした2月4日(木)、3年生を送る会が開催されました。本校の「送る会」は手作りが大きな特色ですが、今年は新型コロナウイルス感染予防対策のため、例年と少し形を変えて実施しました。

また、3月17日(水)、後期入試の合格発表があり、来年度の入学予定者が決まりました。22日(月)には合格者オリエンテーションが行われ、新年度に向けての準備が進んでいます。

校長室だより

「卒業生に贈る言葉」

校長 高尾 博

今年度の卒業式はコロナ禍において、保護者は各家庭1名のみ、来賓はPTA会長様、同窓会長様のみのご臨席となりましたが、多くの高校が在校生不参加となる中、本校では小規模校のよさを生かし在校生も全員参列での開催となりました。在校生が見守る中、厳粛で感動的な式で卒業生を送り出すことができました。

その中で私が卒業生に送った式辞の一部を紹介します。

この三年間、我々教職員は「璞玉から珠玉へ」をスローガンに誠心誠意指導してまいりましたが、ここに立派に成長した68名の卒業生を送り出すことができ、たいへん嬉しく思っています。私自身は一年間皆さんの学校生活を見てきましたが、コロナ禍において、感染防止の徹底という大きな制約がある中で、球技大会での積極的な取り組み、生徒会役員の頑張り、課題研究発表会での立派な発表、部活動で一生懸命活動し後輩たちをリードしてくれた姿などがとても印象的でした。また、コロナ禍による就職状況の悪化にも関わらず就職希望者全員が採用内定を得て、上級学校進学希望者も全員入学試験合格となるなど、全員の進路が確定できました。この素晴らしい成果は、皆さんが玉高チャレンジプランに意欲的に取り組みキャリアアップを果たしたことに加えて、進路実現に対して粘り強くチャレンジし続けたことで得られた賜物です。本日ここに立派に成長した卒業生を送り出すことを、大変うれしく思っております。

そこで、卒業生の晴れの門出に当たり、一言はなむけの言葉をお贈りしたいと思います。それは、「コツコツ努力を続ければ、きっと夢がかなう」という言葉です。野球界の偉人イチロー選手は、高校時代、プロ

野球選手になるという夢をかなえるため、厳しいチーム練習の後、さらに十分間の素振りを毎日毎日続けました。その努力を続けることが、プロ野球選手になるという夢をかなえるただ一つの道だと信じたのです。イチロー選手は「小さいことを重ねることが、とんでもない所に行くただ一つの道である」という名言を残しています。皆さんもご存じの通り、イチロー選手は高校卒業後、見事プロ野球選手になり、日本で7年連続首位打者という偉業を達成したのち渡米し、メジャー記録であるシーズン最多262安打という世界記録も達成しました。コツコツ努力を続けた末に高みまで上り詰めたイチロー選手だからこそ達成できた偉業なのです。

以上、「コツコツ努力を続ければ、きっと夢がかなう」という言葉について述べましたが、本校の校訓「誠実・勇気・奉仕」はこのことを実現するための手がかかるのではないかと思います。卒業生はそれぞれ進む道は違ってくるでしょうが、校訓を胸に、自分の夢、目標に向かって着実に歩を進めていって欲しいと願っています。

在校生の皆さん、卒業生が残してくれた数々の実績や素晴らしい伝統と校風をしっかりと受け継ぎ、さらに発展させることをお願いします。生徒が生き生きと学習や活動をし、活気あふれる学校になっていくことが、卒業生への最高のはなむけであると思います。

卒業生の皆さん、玉村高校で学んだ誇りを胸と笑顔に刻み、社会の至る所で思う存分活躍してください。卒業生の皆さんの輝かしい未来を祝し、併せてさらなるご健康とご多幸を心よりお祈りし、卒業生に贈る言葉といたします。